

明日の県立図書館フォーラム 2015

# どこにも2つの図書館

市町立図書館と県立図書館、それぞれの持つ役割を考える。

**猪谷 千香** ハフィントンポスト日本版記者、文筆家

**植島 啓司** 宗教人類学者

**田中 由紀子** みなみいせ図書室司書

**幅 允孝** 有限会社BACH代表、ブックディレクター

2015 **1.24** 土 14:00-16:30

三重県総合文化センター 多目的ホール

主催 三重県立図書館 共催 三重県教育委員会

入場無料  
申込先着  
400名様



みなみいせ図書室にて

# どこにも2つの図書館

三重県立図書館は、平成23年4月に改革実行計画「明日の県立図書館」を策定し、さまざまな取組を進めてきました。このたび次期の計画をとりまとめるにあたり、図書館サービスの最前線である市町立図書館と、それを支える県立図書館、それぞれがこれからよりよい図書館になるためにどうあるべきかを考えるフォーラムを開催します。

ゲストには、本や図書館にまつわるさまざまな分野でご活躍の方々をお招きし、それぞれの視点から、これからの図書館のあり方についてお話しいたします。

このフォーラムが、市町立図書館や県立図書館の持つ役割をご理解いただく機会になればと思います。

## プログラム

- 14:00 開会 主催者挨拶  
鈴木英敬（三重県知事）
- 14:05 基調スピーチ  
植島啓司 猪谷千香 幅允孝
- 15:00 パネルディスカッション  
コーディネータ 植島啓司  
パネリスト 猪谷千香 田中由紀子 幅允孝
- 16:30 閉会



植島啓司 うえしま けいじ

宗教学者。東京都生まれ。東京大学卒業。同大学院人文科学研究科(宗教学専攻)博士課程修了後、シカゴ大学大学院に留学し、ミルチャ・エリアーデらのもとで研究する。ニューヨークのニュースクール・フォー・ソーシャルリサーチ客員教授、関西大学教授などを歴任。著書に「処女神」「日本の聖地ベスト100」「聖地の想像力」「世界遺産 神々の眠る熊野を歩く」などがある。

撮影 森川由美



猪谷千香 いがや ちか

ハフィントンポスト日本版記者、文筆家。東京都生まれ。明治大学大学院博士前期課程考古学専修修了。産経新聞で長野支局記者、文化部記者などを経た後、ダウンゴコンテンツでニコニコ動画のニュースを担当。2013年4月から現職につき、公共図書館や地方自治などについて取材している。著書に「つながる図書館」「日々、きものに割烹着」などがある。



幅允孝 はば よしたか

有限会社BACH代表、ブックディレクター。愛知県生まれ。未知なる本を手にもたらす機会をつくるため、本屋と異業種を結びつけたり、病院や企業のライブラリーを制作している。代表的な場所として、国立新美術館「SOUVENIR FROM TOKYO」や伊勢丹新宿店「ビューティアポセカリー」など。著書に「本なんて読まなくていいのだけれど」、「幅書店の88冊」などがある。



田中由紀子 たなか ゆきこ

みなみいせ図書室司書。三重県生まれ。現図書室の前身「南伊勢コミュニティ図書室」の運営にボランティア参加するとともに、司書資格を取得し、2012年「町に図書室がほしい!」という夢を、南伊勢町役場や県立図書館の支援を得て実現。「人びとの心にあたたかな灯りをともし」の理念のもと、仲間とともに、地域の人人々に愛され、親しまれる「より場」づくりをめざしている。

## 申込制 (先着 400 名様)

フォーラムに入場をご希望の方は、下記の方法でお申し込みください。先着400名様をご招待します。お申し込みの際には、入場を希望される方のお名前、電話番号をお知らせください。

なお、お申し込みが定員になり次第、締め切らせていただきます。

お申込先 (件名)：三重県立図書館「フォーラム」係

ホームページ 図書館フォーラムの申込フォーム

電話 059-233-1181

FAX 059-233-1191

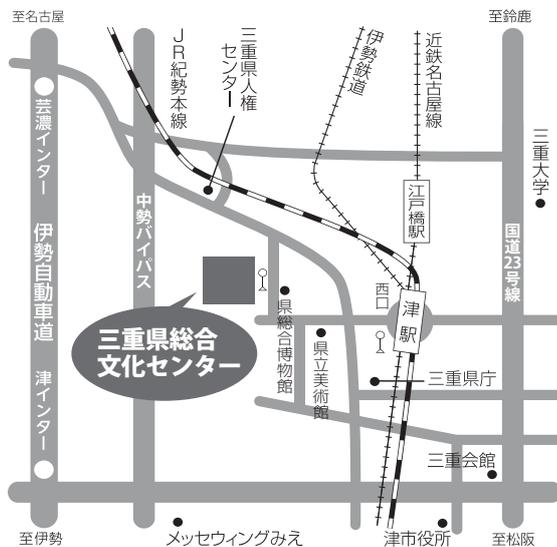
Eメール mie-lib@library.pref.mie.jp

窓口 三重県立図書館カウンター

\*ご記入いただいた個人情報は、今回の目的以外には使用いたしません。



☎ 携帯電話からもお申し込みいただけます



### 交通のご案内

三重県総合文化センター 〒514-0061 津市一身田上津部田 1234

- 鉄道 近鉄・JR 津駅下車
- バス 津駅西口から約5分
- 徒歩 津駅西口から約25分
- タクシー 津駅西口から約5分
- 自家用車 伊勢自動車道津インターから約15分、芸濃インターから約15分